

PRESS RELEASE

2026年3月18日
株式会社エスユーエス

堀場エステック、最先端技術活用の推進を目的とした「バーチャル技術体験会」を開催 ～現場主導のDX推進に向け、既存業務への活用イメージを具体化～

株式会社エスユーエス（本社：京都市下京区、代表取締役社長：齋藤 公男、以下「エスユーエス」）は、株式会社堀場エステック（本社：京都市南区、代表取締役社長：堀場 弾、以下「堀場エステック」）において、新工場の立ち上げに伴う最先端技術活用と現場主導のDX推進を見据えた、「バーチャル技術体験会」を実施しました。

体験会ではVRゴーグルを使用した高所体験や、複数人で同時に作業を行うワークデモを中心に、主に産業向けとなるARやMR、メタバースにも共通するバーチャル技術活用を体験しました。



HORIBASTECC

▼堀場エステック 新生産工場の完成イメージ図（京都府福知山市）

■取り組みの背景

半導体製造装置向けの流体制御技術で世界トップシェアを誇り、グローバルに事業を展開する堀場エステックでは、現在、京都府福知山市に建設中の新工場稼働を控え、生産性の向上と次世代への円滑な技術継承が重大なテーマとなっています。同じ京都に拠点を置くパートナーとして、エスユーエスは熟練技能の属人化解消や若手育成の効率化、そして誰もが一定の水準で学べる教育体制の構築を支援すべく、本会を企画しました。

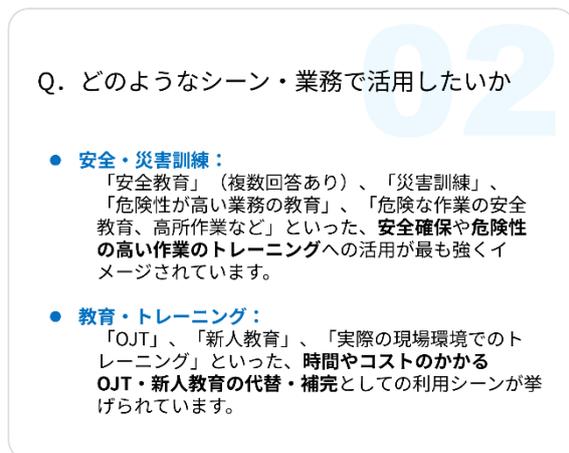
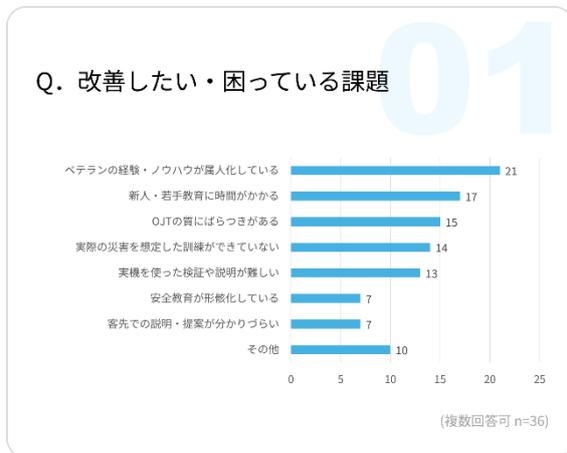
当日はリーダー層を中心に、当日出勤者の半数を超える社員が参加しました。複数人での同時体験型VRや実機不要の安全教育といった実務に即したプログラムを通じ、チーム連携の強化や現場での判断力向上といった具体的な活用方法を多角的に検証しました。

<お問い合わせ窓口>

総務部広報担当（Mail：soumu@m.sus-g.co.jp / Tel：075-229-7407）

■体験者アンケートからみる現場の期待（回答数：36名）

実施後のアンケートでは、参加した社員から先端技術の導入に対して前向きな期待が寄せられました。



体験者の声（抜粋）

● 管理部／防災・安全教育への関心

「外部指導を受けにくい夜間組織のメンバーに対し、VRなら時間や場所の制約が無く実践的な防災訓練が実施でき、有事の際の対応力向上に有効だと感じた」

● 営業本部／育成・教育への関心

「実機教育が難しい営業拠点や工場の無い他拠点でも、VRの同時体験なら場所を問わずクリーンルーム等の詳細な教育が可能になる」

● 生産技術部／実機破損リスクの回避

「実機破損や部品手配のリスクを気にせず、バーチャル上で納得いくまで調整訓練や避難訓練が行える点は、現場にとって非常に大きなメリットに思える」



▼バーチャル技術体験会の様子

<お問い合わせ窓口>

総務部広報担当（Mail : soumu@m.sus-g.co.jp / Tel : 075-229-7407）

■今後の展開

エスユーエスは、今回の体験会で明らかになった課題に対し、当社の技術力で最適なソリューションを提供し、顧客の課題を直接的に解決することを目指します。今後も VR 技術をはじめとする最先端技術を駆使し、日本の製造業が抱える技術継承や人手不足といった深刻な課題の解決に寄与し、業界全体の課題解決に貢献してまいります。

■エスユーエスについて

株式会社エスユーエスは、IT・機械・電気・電子・化学といった分野を中心とした、技術系のアウトソーシングが事業の軸です。当社のエンジニアは全員が正社員となっており、当社内での受託開発のほか、顧客企業の現場に常駐する請負型、顧客企業への派遣という 3 つの形態でサービス提供を行っています。さらに、近年ビジネス活用の動きが進む AR/VR 技術の開発にもいち早く着手し事業化に成功。事業の新たな柱と位置づけています。産業界でも現在、実用化に向けた研究開発が多方面で加速しており、AR/VR 領域で先行する当社に多くの企業から相談が寄せられています。

本店所在地	京都市下京区四條通烏丸東入ル長刀鉾町 8 京都三井ビルディング 5 階
代表者	代表取締役社長 齋藤 公男
設立年月日	1999 年 9 月 1 日
資本金	4 億 3,600 万円 (2025 年 9 月 30 日現在)
事業内容	■ IT 分野・機械分野・電気/電子分野・化学/バイオ分野におけるエンジニア派遣・開発請負 ■ AR/VR 教育および AR/VR ソリューション開発・販売 ■ AI 教育および AI ソリューション ■ ERP 分野におけるコンサルティング・システム開発・導入支援 ■ その他 IT を活用したサービス事業
URL	https://www.sus-g.co.jp/
お問い合わせ窓口	総務部広報担当 (Mail : soumu@m.sus-g.co.jp / Tel : 075-229-7407)

<お問い合わせ窓口>

総務部広報担当 (Mail : soumu@m.sus-g.co.jp / Tel : 075-229-7407)